

議事 2 令和4年度自殺対策の報告と令和5年度への取り組み

- (1) 地域におけるネットワークの強化
- (2) 自殺対策を支える人材の育成
- (3) 市民への啓発と周知
- (4) 生きることの促進要因への支援

令和4年度 いのち支える奈良市自殺対策推進本部 作業部会

目的：「いのち支える奈良市自殺対策計画」の重点課題である「生活困窮者」「子ども・若者」に加え、自殺が増加している「女性」に関する相談窓口のある課が課題を協議することで、相談体制の充実を目指す。

日時：令和5年1月13日（金）

対象：15部署

内容：本市の自殺の現状の共有・関係課への聞き取りの報告・事例検討

令和4年度 いのち支える奈良市自殺対策推進本部 作業部会

- 第2次計画策定に向けて、自殺対策の課題を相談窓口で共有する機会となった。
- 本人のニーズを聞くことは難しく、最初に話を聞いた窓口がしっかりと聴き取ることが大切になる。
- 市町村で行われている重層的支援と、協力することを検討する必要がある。
- 支援が必要な人が相談窓口を知ることが出来る取り組みを検討する。

相談の連携体制やルールづくりについて、作業部会で検討を継続する。

①ゲートキーパー養成研修（一般市民向け）

目的：悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援や相談に繋げ見守る人（ゲートキーパー）を養成する。

	方法	団体名など	実施日	人数
令和4年度	動画配信	個人がホームページで受講	令和4年12月1日 ～令和5年3月31日	14名
	職員派遣	彩ビューティーカレッジ	令和4年10月5日	16名
		ファミリー・サポート・センター	令和5年1月24日	16名
令和5年度	職員派遣	彩ビューティーカレッジ	令和5年10月17日	15名
		ウェルシア	令和5年11月14日	10名

①ゲートキーパー養成研修（市職員向け）

目的：市職員一人ひとりに、自殺に対する正しい理解のもとで市民に向き合うことの必要性を再認識し、自殺対策が地方公共団体として取り組むべき課題であることを理解し、自殺対策を総合的に推進して自殺の防止を図る。

	方法	実施日	延人数
令和元年度	対面実施	令和元年8月8日	154名
令和2年度	動画配信	令和4年12月1日 ～令和5年3月31日	173名
令和4年度		令和5年1月4日 ～1月31日	231名
令和5年度		令和5年6月5日 ～7月31日	1,649名

※令和3年度はコロナウイルス感染拡大のため実施せず

いのち支える奈良市自殺対策計画の数値目標：5年間で延べ1,500人受講

②いのち支える奈良市自殺対策 市民研修会

	実施日	テーマ	参加者
令和4年度	令和5年3月6日	女性のこころと身体の不調と対処法	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等 43名 ・職能団体等 4名 ・所属不明 18名 合計65名 ※会場での当日講座と後日配信のハイブリット形式で実施
令和5年度	令和5年9月28日	認知症だと思っていたのは、うつ病だった!?	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等 19名 ・職能団体等 25名 ・所属不明 15名 合計59名

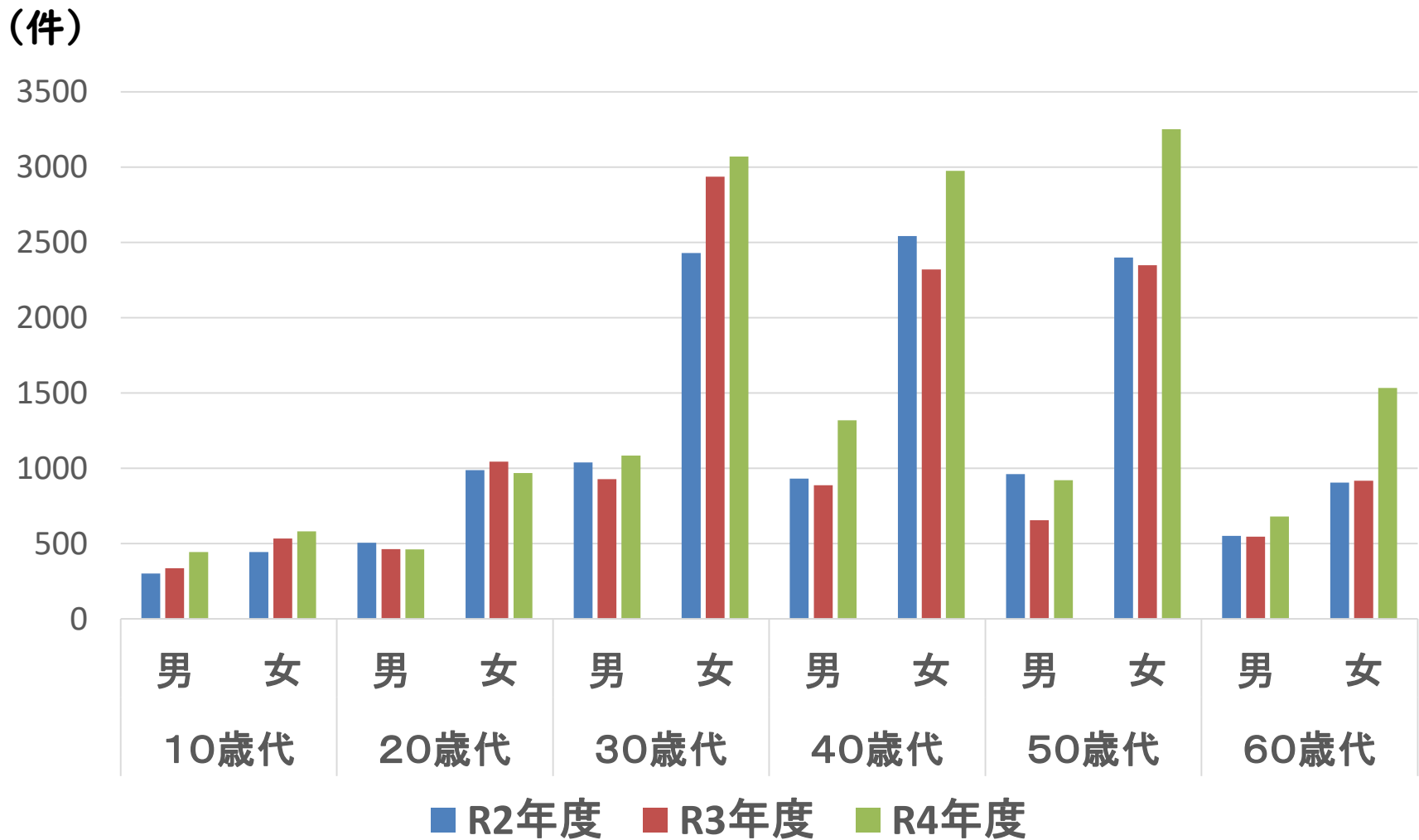
①自殺予防週間（9月）と自殺対策強化月間（3月）

- ◇庁内外関係機関へ厚労省作成ポスターの掲示、本庁・保健所にてパネル展示
- ◇奈良市在住、在勤、在学の方を対象に「ストレス対処法」を募集(R4年度)
- ◇関西文化芸術高等学校の生徒によるポスター制作
- ◇市内の駅に設置してあるデジタルサイネージで配信
- ◇市立図書館3カ所で関連図書コーナーの設置
- ◇ホームページやしみんだより掲載、SNSで啓発



②こころの体温計

男女別年代別アクセス件数（本人モード）



↑子育て関連の
ホームページに
リンクをはる

③奈良大学との連携

実施日	内容	参加者
令和4年11月2日、4日	文化祭で行われた自殺対策の啓発「青春をもう一度生き直すためのワークショップ」に参加	大学生など 500名
令和5年5月18日	『保健所ってどんなところ？「生きづらさ」から自分の、大切な人のところを守る』という題で新入生に講演	奈良大学1年生467名
令和5年10月28日	『若者の自殺行動の理解と自殺予防のシンポジウム—生き苦しさを抱える目の前の子どもたちを理解し支えるために—』企画運営から参加し、シンポジストとして出席	大学生など 185名

④救急隊と連携した自殺未遂者支援

目的：自殺未遂を行った自損行為者及びその家族等が相談先を知るにより、再企図を防ぐ。

対象者：自殺未遂を行った自損行為者及びその家族等

方法：救急隊出動時又は搬送後に救急隊からカードを渡す。

自殺未遂者支援
啓発カード

年度	配布人数
平成30年度	1人
令和元年度	5人
令和2年度	6人
令和3年度	7人
令和4年度	6人



① 自殺対策相談窓口

相談窓口		令和4年度		令和5年度	
		回数	件数	回数	件数
臨床心理士によるこころの健康相談 (毎月第2・4月曜日)		19	39	16	38
自死遺族の相談“あかり” (いのちの電話協会が実施)	電話相談 (毎週木曜日)	47	21	37	14
	集い(グループ) (毎月第4木曜日)	12	4	9	7
精神保健福祉相談(自殺に関する相談)			31		26

※令和5年度は、12月末時点の実績

② オンラインこころのケア相談事業について

目的：コロナ禍以降、女性・若者・生活困窮者の自殺が増えており、保健所まで足を運ぶことができない人、保健所が相談を受け付けている時間に相談ができない人等に対して、気軽に相談できる機会を増やすことで、自殺リスクの高まりを緩和・軽減し、自殺予防対策を図る。

対象者：奈良市民

予約時間：午前9時～午後9時まで（土日祝日も可）1回50分で原則1回

利用状況：



	形式	申し込み	実施
令和4年度 (8月～)	Zoom	22件	10件
令和5年度	Zoom	22件	14件
	メール	19件	9件

※令和5年度は、12月末時点の実績